

DM7 Firmware 主なアップデート内容

V1.52

V1.51 の改善点

- 電源投入時、アップデートプログラムのバージョンに加えファームウェアバージョンも 7 インチのタッチスクリーンに表示されるようにしました。
- LOG 機能を拡充しました。

V1.52 で修正された不具合

- ユーティリティスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションを実施しても [APPLY] ボタンがグレイアウトしたまま押せない不具合を修正しました。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と DM7 Control とで反転していた不具合を修正しました。

V1.51 で修正された不具合

- 画面下部のエンコーダーがチャンネルエンコーダーとして機能しているときに、DCA Roll-out 機能をオン/オフすると、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずノミナル値に変更されてしまう不具合を修正しました。
- ユニットモード変更時にネットワーク設定など共通のパラメーターまで初期化されてしまう不具合を修正しました。
- ワイヤレス機器に関するモニター情報がまれに誤って表示される不具合を修正しました。

- Bay L / Bay C の タッチスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示更新がまれに止まる問題を修正しました。
- タッチスクリーン横のボタンが操作にまれに反応しなくなる問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートがまれに途中で止まってしまう問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートが途中で止まると、次のファームウェアアップデート時に不正確な進捗情報が表示されたり、ファームウェアアップデートが終了しなかったりする問題を修正しました。

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。

- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続のときに主回線 (PRIMARY) のケーブルを抜くと、DANTE I/O DEVICE の HA がコントロールできなくなります。音声は副回線 (SECONDARY) により継続されます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning: Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante の副回線 (SECONDARY) で通信していると、実際には主回線 (PRIMARY) での通信が途切れているにもかかわらず "Dante is working at 100Megabit, not 1Gigabit." の警告が誤って表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- シーンリコールのための OSC コマンドが正しく機能しません。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデジーチェーンモードになります。
リダundant接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

バージョンアップ時のご注意

- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.51

V1.51 の改善点

- 電源投入時、アップデートプログラムのバージョンに加えファームウェアバージョンも 7 インチのタッチスクリーンに表示されるようにしました。
- LOG 機能を拡充しました。

V1.51 で修正された不具合

- 画面下部のエンコーダーがチャンネルエンコーダーとして機能しているときに、DCA Roll-out 機能をオン/オフすると、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずノミナル値に変更されてしまう不具合を修正しました。

- ユニットモード変更時にネットワーク設定など共通のパラメーターまで初期化されてしまう不具合を修正しました。
- ワイヤレス機器に関するモニター情報がまれに誤って表示される不具合を修正しました。
- Bay L / Bay C の タッチスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示更新がまれに止まる問題を修正しました。
- タッチスクリーン横のボタンが操作にまれに反応しなくなる問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートがまれに途中で止まってしまう問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートが途中で止まると、次のファームウェアアップデート時に不正確な進捗情報が表示されたり、ファームウェアアップデートが終了しなかったりする問題を修正しました。

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。

- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続のときに主回線 (PRIMARY) のケーブルを抜くと、DANTE I/O DEVICE の HA がコントロールできなくなります。音声は副回線 (SECONDARY) により継続されます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning: Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と CTL-DM7 とで反転している不具合が見付かりました。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデジチェーンモードになります。リダundant接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.50

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。

- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- 画面下部のエンコーダーが Channel Encoder として機能している状態で、DCA Rollout 機能の ON/OFF を行った場合、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずにノミナル値に変更されてしまうことがあります。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

- リダンダント接続のときに主回線 (PRIMARY) のケーブルを抜くと、DANTE I/O DEVICE の HA がコントロールできなくなります。音声は副回線 (SECONDARY) により継続されます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning: Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と CTL-DM7 とで反転している不具合が見付かりました。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデイジーチェインモードになります。リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.03

- 初期リリースバージョン(プレリリース版)

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデイジーチェーンモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。